

2019年5月

ヘルスケア・インサイト、イノベーションとインパクト

5月、ヘルスケア株は下落しましたが、S&P500指数をアウトパフォームしました。

ファンダメンタルズが良好であるにもかかわらず、国民皆保険制度法案の行方と、この法案が可決された場合に薬価制度にもたらす影響が懸念され、市場のセンチメントはネガティブです。

最もパフォーマンスがよかったサブ・セクターはヘルスケア・テクノロジー、続いてヘルスケア・プロバイダー & サービスでした。

マーケット・インサイト

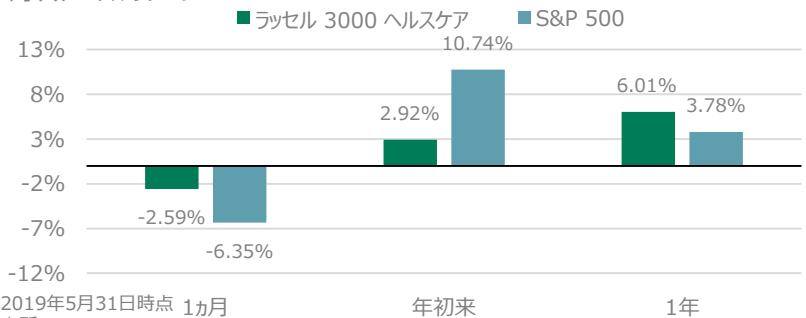
5月、ヘルスケア株は下落しましたが、S&P500指数をアウトパフォームしました。パフォーマンスの乖離は主に、月初に、米中の貿易戦争の激化を受けて市場全体が急落したことにより発生しました。ヘルスケア株の多くは米国内におけるビジネス展開に焦点をあてており、貿易政策の変化や経済成長の影響を受けにくいいため、比較的好調に推移しました。

サブ・セクターにおいては、最もリターンが高かったのはヘルスケア・テクノロジーでした。ヘルスケア・プロバイダー & サービスも上昇しました。一方、バイオテクノロジーは、米国の薬価制度や政治的リスクに対する懸念のため5月は下落しました。これは、技術イノベーションや製品イノベーションを背景に堅調であったバイオテクノロジーの近年のパフォーマンスとは対照的です。

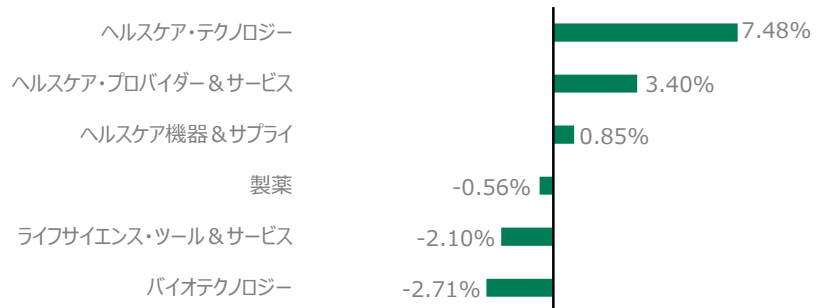
第1四半期の決算では、ヘルスケア・セクターがS&P500指数のセクターの中で最も高い増益（前年比）を発表しました。さらに、この分野では経営統合やイノベーションが活発です。このようにファンダメンタルズが良好であるにもかかわらず、国民皆保険制度法案の行方や、この法案が可決された場合に薬価制度にもたらす影響が懸念され、市場のセンチメントはネガティブです。全般的に関係者が強く反対していることや、国民の支持も充分ではないことから、私どもは引き続き、現状ではこの法案が可決される可能性は低いと考えています。

パフォーマンス・スナップショット

月次トータルリターン



業種別超過リターン、対ラッセル3000ヘルスケア指数



2019年5月1日から2019年5月31日
出所: FactSet.

国連の 持続可能な 発展目標 (SDGs)



「健全な生活を確保し、あらゆる世代層の健康を促進する」

インパクト・テーマ



革新的な治療法



医薬品とサービスへの
アクセス



医療費削減の新しい
ソリューション



機器、サービス、ソフトウェア
の生産性向上

ヒトゲノムを解明するCRISPR

先月のヘルスケア・マンスリー・レポートでは、米国及び世界で行われている、失明や鎌状赤血球貧血、及びある種の癌に対する遺伝子治療などの、CRISPRを用いた治療についてお話をしました。今回は、再び研究室に戻り、科学研究におけるCRISPR遺伝子編集技術の将来的な活用例をご紹介します。科学の世界では、ヒトゲノムに関する理解を深めるためのCRISPRの活用に熱い期待が寄せられています。

CRISPR は遺伝子研究に革命をもたらす

ヒトゲノムの「地図」は2003年に完成しましたが、これら全ての遺伝子の関係と機能はまだ完全には明らかになっていません。全ての遺伝子の役割と相互作用を理解し解読するのは、世界中の科学者にとって膨大な量の骨の折れる仕事です。この分野においてもCRISPRが強力な新しいツールになっています。

ヒトゲノムの様々な遺伝子の機能を調べる方法の一つは、他の生物の類似する遺伝子を観察することです。マウスとヒトの遺伝子は約85%が共通ですので、科学者はマウスの遺伝子を操作して、同様の変化がヒトには何を意味するのかを理解することができます。

CRISPRが用いられる以前は、一度に一つの遺伝子を「ロックアウト」つまり非活性化した上で、そのような編集がされていない遺伝子や生物と比較してその効果を研究するという、手間と時間のかかる行程でした。CRISPRはこのロックアウト・スクリーニングを遥かに効率的にし、また、その技術は他のスクリーニング方法にも適用することができます。

これにより、一度にスクリーニングできる遺伝子の数が劇的に増大するため、研究のスピードに大きな変化が出ます。これは、疾患の遺伝的原因を特定し、これまでよりも遥かに迅速に、新しい治療の標的を特定できることを意味します。さらに、これらのスクリーニングにより、薬効や耐性に対する遺伝的影響について理解を深めることができます。来月は、こういった新発見の獲得と適用を急ぐ企業の動向をご説明します。

注目銘柄：リジネロン

CRISPR技術を扱う大手バイオテクノロジー企業の一例として、インテリア社とのパートナーシップを通じて開発を行うリジネロンが挙げられます。リジネロンは、重症疾患の治療薬の発見と開発に取り組んでいます。同社のリジネロン・ジェノミクス・センターで測定された、世界でも有数な25万人分の包括的遺伝子データベースを活用することにより、感染症や免疫学、癌などの分野の治療に取り組んでいます。現在、複数の治療分野に亘る、16の抗体について臨床試験が行われています。

著者



Michael Li, Ph.D.

シニア・ポートフォリオ・マネジャー

アメリカン・センチュリー・インベストメンツのVP及びポートフォリオ・マネジャー。2002年に同社入社。それ以前は科学者及びプロジェクト・マネジャーとしてPharmaceutical Research Institute of Bristol-Myers Squibb Co. に勤務し、FDAに研究用新薬の申請を行うなど、医薬品発見から開発まで、研究者をサポートする多機能チームの管理に従事した。中国科学技術大学で材料科学及びエンジニアリングの学士号取得、ペンシルベニア大学ウォートンスクールで経営学修士号、ミシガン大学で化学Ph.D.を取得。



Henry He, CFA

ポートフォリオ・マネジャー

アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオ・マネジャー。前職はBNP Paribas Investment Partnersのシニア・エクイティ・リサーチ・アナリスト、及びポートフォリオ・マネジャーとしてヘルスケア及びバイオテクノロジーセクターの運用を担当。ハーバード大学で経済学学士号取得。CFA®チャーターホルダー。



Kevin Lewis, CFA, CAIA

シニア・クライアント・ポートフォリオ・マネジャー

投資家と共に歩み、グローバルグロース株式市場に関するインサイトと展望を提供する。また、アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオ運用チームを代表して同社のグロース株投資哲学、投資プロセス、及びパフォーマンスを提供する。CFA®チャーターホルダー及びCAIA®チャーターホルダー。

過去のパフォーマンスは将来の投資成果を保証するものではありません。

ここに表明される意見は、アメリカン・センチュリー・インベストメンツの意見であり、アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオの将来のパフォーマンスを保証するものではありません。この情報は参考情報の提供のみを目的としており、投資アドバイスを目的としたものではありません。特定の有価証券への言及は、説明目的のためのみであり、有価証券の購入または売却の推奨を意図したものではありません。提示された意見及び予想は当社の判断とその他のポートフォリオ・データを含んでおり、予告なしに変更されることがあります。

この情報は、個人的な推奨あるいは信任アドバイスを意図したのではなく、投資や会計、法律、税務アドバイスの判断に用いられるべきではありません。

日本の投資家向け：この資料は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されているいかなる有価証券やアドバイス、サービス、投資戦略、プロダクトの売買の勧誘を目的としたものではありません。この資料は米国外のリテール投資家を対象としています。この文書の内容は規制当局によって審査されていません。American Century Investment Management, Inc. は日本で登録されていません。

American Century Investment Management (Asia Pacific), Limitedは証券先物委員会（「SFC」）のタイプ1およびタイプ4の登録を保持しています。American Century Investment Management, Inc.はSFCに登録されていません。

American Century Investments®

4500 Main Street
Kansas City, MO 64111
1-866-628-8826

330 Madison Avenue
New York, NY 10017
1-866-628-8826

1665 Charleston Road
Mountain View, CA 94043
1-866-628-8826

2121 Rosecrans Avenue
El Segundo, CA 90245
1-866-628-8826

3 Garden Road, Central
Hong Kong
+852 3405 2600

12 Henrietta Street
London, WC2E 8LH
+44 20 7024 7080

167 Macquarie Street
Sydney, NSW 2000
+61 2 8667 3025

【野村アセットマネジメントからのお知らせ】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。

したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

■投資信託に係る費用について

2019年6月現在

ご購入時手数料 《上限4.32%(税込み)》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。投資信託によっては、換金時(および償還時)に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用(信託報酬) 《上限2.1816%(税込み)》	投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧下さい。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会